

“部活動改革”や

“これからのスポーツ環境”のことを

教育委員会や 学校だけで

考えていても進まない

今後について考える段階から

スポーツ関係団体と一緒に考えていこう

検討委員会のはじまり

**主催 飯伊市町村教育委員会連絡協議会
南信教育事務所飯田事務所**

参加団体

飯伊地区の小・中学校PTA 飯田下伊那PTA連合会
飯伊地区の小・中・高校 下伊那校長会(南信中体連理事) 下伊那中体連事務局
飯田市スポーツ協会 下伊那郡体育協会 飯伊スポーツ推進委員協議会
公民館長・公民館主事・社会教育(スポーツ)団体 市町村スポーツ少年団担当者
飯伊地区総合型地域スポーツクラブ 飯伊柔道整復師会
市町村教育委員会(学校教育係、社会教育係、生涯スポーツ係)

これまでの検討委員会の経緯、協議内容

「中学生期の部活動講演会」

講師：筑波大学教授 清水 紀宏 氏

○スポーツを通して **指導者** は

- ・生徒が**自主的・自律的**にとりくめる力を育む
- ・**自分達で決める体験**を
- ・本来の目的「**スポーツの楽しさ**」を味わえるように

自分達でスポーツ環境を整える体験 ⇒ 生涯スポーツへ

これまでの検討委員会の経緯、協議内容

「飯伊地区 ジュニア期のスポーツ活動 検討委員会」

- 「何のためのスポーツ活動？」 → 目的を明確にすべき
- 少子化で困り込み → いろいろな人と 様々な種目がしたい
- 特定種目の練習しすぎ → 「燃えつき」「若年期のケガ」
- 子どもよりも熱くなる大人 → 「同じようになりたくない」
- スポーツ以外の時間がない → 学習など 他のこともしたい
- 送迎がなく参加できない → 仲間と スポーツがしたい
- 保護者当番、送迎など → 家族の時間や 休日はどこへ…

これまでの検討委員会の経緯、協議内容

「飯伊地区 ジュニア期のスポーツ活動 検討委員会」〔PTAの方 ご意見〕

- 大人がすべて決めてしまうと、子供が自立できない。

子どもが自分で考えられる環境を、大人が作る

- 「スポーツに親しめる環境」も「競技力向上をめざせる環境」も

子ども達が自分で選べる 環境づくり

- 大人のスポーツは、自由度が高く、楽しくのびのび

子どもにも、同じようなスポーツの環境を

- **勝ちたい、したい、楽しみたい**

子ども か 大人か

- **活動時間、休養**

子どものやり過ぎ か 大人のやらせ過ぎか

- **すること**

子ども(達)が自分で決める か 大人が決めるか

これまでの検討委員会の経緯、協議内容

【令和4年 8月24日】(オンライン開催) 参加者:100名超

「第1回飯伊地区ジュニア期のスポーツ活動検討委員会」

これまでの協議をもとに **具体的な取り組みを**

- **飯伊地区全体でビジョン、ルールづくり**
- 地域移行の目的の確認 「×過熱化」「×移して終わり」
- 理念の浸透を 子ども、保護者、指導者、教員へ

提案① ビジョンの策定

「すべての生徒にとって、幸せで健全な(ウェルビーイング)活動に」

「指導者の心得6カ条」の浸透

(全市型スポーツスクールの指導者心得の発展的展開)

「私たちは、スポーツの指導者として、保護者とともに、子どもの最大の理解者であり最高の応援者となるために、以下のことを大切にします」

- 1. お互いを認め合える“人”を育てます。**
- 2. プレイヤー自身が“考える”ことを尊重します。**
- 3. 勝敗よりも、プロセスを重視します。**
- 4. 怪我やバーンアウト(燃え尽き)から守ります。**
- 5. 指導のあり方を学び続けます。**
- 6. 生涯、スポーツを楽しめる大人に育みます。**